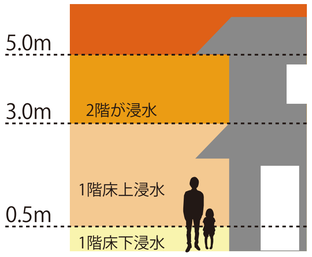
赤尾川 水害危険情報図（L2）

浸水深の目安

ご自宅の浸水の深さを確認しましょう





このハザードマップについて

- **水害危険情報図とは、洪水浸水想定区域図の作成手法を基本としつつ、簡略化した方法で作成し、浸水が想定される区域と浸水深さを表示した地図です。**
- **1,000年に1回程度発生する大雨（想定最大規模［L2］）を前提に作成しています。**

想定条件

河川名	確率	前提となる降雨量
赤尾川	1,000年に1回	赤尾川流域の1時間降雨量176mm（降雨強度）

★このマップは、赤尾川の浸水想定を表した図であり、色が塗られていない地域であっても、他の河川の影響を受ける可能性があります。複数の河川を重ねあわせた「大垣市洪水ハザードマップ」（令和3年3月作成）もご確認ください。
なお、浸水が想定されている区域外であっても、降雨状況によっては浸水する可能性があります。

凡　例

▼浸水深（ランク別）
- 5.0m 以上
- 3.0m 以上 5.0m 未満
- 0.5m 以上 3.0m 未満
- 0.5m 未満

▼避難施設
- 指定拠点避難所 兼 指定緊急避難場所
- 指定避難所 兼 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所

避難施設の利用のご注意
- 2階(3m以上浸水する場合は3階)以上が利用できる施設
- 利用できない可能性がある施設
  ※地震時は利用可能

- 大垣市
- 行政界
- 市役所
- 消防署
- 警察署
- 国道
- 県道
- 地下道(アンダーパス)
- ＪＲ
- その他鉄道
- 鉄道駅
- 高速道路
- IC インターチェンジ
- SIC スマートインターチェンジ
- JCT ジャンクション
- SA サービスエリア

0 1 2 3 4 5 km
（35,000分の1）

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 2JHs 1104